

2025 年 8 月 20 日

公益社団法人 日本パブリックリレーションズ協会

広報・PR活動の最高峰を選出する 「PRアワード 2025」 8 月 20 日(水)からエントリー受付開始

公益社団法人日本パブリックリレーションズ協会（東京都港区、理事長：山口恭正、略称：PRSJ）は、8 月 20 日(水)から「PRアワード 2025」のエントリー受付を開始いたします。
詳しくは下記 URL をご確認ください。

<協会 HP> <https://prsj.or.jp/pr-award/>

「PRアワード」は、一般企業・団体の広報部門やPR会社の施策に留まらず、社会との共創を通じてビジネスと世の中を動かした Public Relations の実践事例を広く募集し、審査を通して日本を代表する優秀な活動を表彰・公開するものです。日本のコミュニケーション技術の更なる質的向上と、人材の育成に資するとともに、パブリックリレーションズに対する一層の理解促進を目的としています。

前身となる「PR活動顕彰」は 1961 年に始まり、2001 年に「PRアワードグランプリ」としてスタートしてから本年度で 25 年目となり、今年から「PRアワード」と改称します。

審査団については、審査委員長に田上智子氏（株式会社シナジア）が就任し、審査団全 10 名はパブリックリレーションズのプロフェッショナルの方々に加え、学識経験者やジャーナリストの方々に構成しています。多彩なエントリーに対し多角的な視点で評価を行うことにより、広報・PR活動の最高峰を選出するアワードの実現を目指します。

また、8 月 20 日から 9 月 15 日までにいただいたエントリーについては、「早期エントリー制」の導入によりエントリー料を通常の半額未満とし、応募層の拡大を図ります。

スケジュールは、2025 年 8 月 20 日（水）の受付開始から、早期エントリーの締め切りを 2025 年 9 月 15 日（月）、最終エントリーの締め切りを 10 月 15 日(水)17:00 必着といたします。

「PRアワード」新ロゴ制作について

PRアワードは、パブリックリレーションズの本質を追求していくという今までのアイデンティティは継続しながらブランドの刷新を図るべく新たにロゴを制作しました。革新性と信頼性、PRの多様性を象徴するデザインは、PR業界の未来を見据えた力強いメッセージを発信します。今後も本アワードは、優れたパブリックリレーションズの価値を広く伝えてまいります。



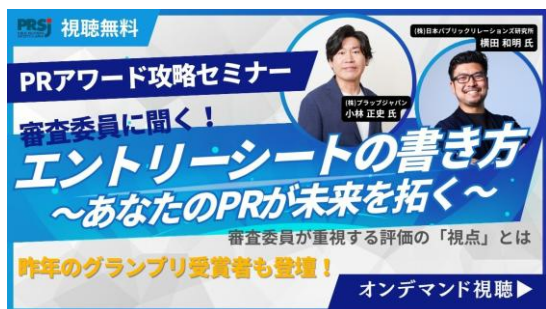
◇ 制作者のコメント

「PR」は「Public Relations」の略で、様々な相手と公益で友好的な信頼関係を築くコミュニケーション活動でありマネジメント機能です。いまや、その活動領域はリアルやネットなどで、複眼的な視点が求められています。今回「P」と「R」を立体的に構成させることで、1つの視点だけでは語れないPRの社会的意義を表現しました。

クリエイティブディレクター
株式会社アストラカン 代表取締役社長
大阪芸術大学客員教授
有澤卓也

「PRアワード攻略セミナー」オンデマンド配信について

協会ホームページでは、8月5日（火）に開催した「PRアワード攻略セミナー」の様様をオンデマンド配信にて公開中です。応募検討中の方はもちろん、広報・PRに関わる全ての方にとって、たいへん興味深い内容となっております。



申込みなどお手続きは不要で、下記 URL からどなたでもご視聴いただけます。

エントリーシートの書き方や、審査団が何に注目し評価しているのかなど、審査委員自らご説明いただいていますので、ぜひお見逃しのないようにご覧ください。

▼動画視聴はこちら

<https://prsj.or.jp/pr-award/>

「PRアワード 2025」応募概要

◇ 趣旨

幅広いパブリックリレーションズの活動事例を募集し、審査を通じて優秀な事例を表彰・公開することで、日本のコミュニケーション技術の質的向上、人材育成に資するとともに、パブリックリレーションズに対する一層の理解促進を図る。

主催：公益社団法人 日本パブリックリレーションズ協会

後援：経済産業省、日本広報学会、公益社団法人 日本広報協会（申請中）

◇ エントリー条件

企業・団体が実施または参加したコミュニケーション活動であり、活動開始時期に関わらず直近1年間（2024年8月以降）に成果があがったもの。

※現在継続している活動を含む

※過去にエントリーした案件も、上記条件に当てはまれば再度エントリー可

◇ 応募について

日本におけるパブリックリレーションズの幅広い事例を募集します。

コーポレート・レピュテーションやブランディングの向上、事業成長やマーケティング面での貢献、社会的課題解決に向けた貢献活動などの統合的なコミュニケーション活動から、広報・PRに関する調査研究・著作まで、業界の発展や社会的評価の向上に資する事例をお寄せください。短期間でのキャンペーンや長期間にわたる組織変革事例なども歓迎します。

応募に際し、この活動がなぜパブリックリレーションズの事例としてふさわしいかをエントリーシート「プロジェクト概要」の欄に明記してください。当協会では、パブリックリレーションズとは、「ステークホルダーおよび社会との間で健全な価値観を形成し、継続的に信頼関係を築くための活動である。その中心となるものは、相互理解と合意形成、信頼関係を深めるためのコミュニケーションである。」と定義しています。

（日本パブリックリレーションズ協会倫理綱領より（<https://prsj.or.jp/about/koryo/>））

その上で、次の4つの評価ポイントを明らかにしていただきます。

- 1) Strategy & Research 課題解決のための戦略性
- 2) Idea 課題解決のための独創性
- 3) Execution 活動内容の専門性または完成度
- 4) Impact & Results 実現した行動変化と事業への影響や社会的にもたらした変化

下記の例をご参照いただき、当該活動の目的とその達成における具体的な成果を記述してください。

※なお、いずれの成果イメージにおいてもパブリシティの広告換算を入れることは禁止いたします。

＜応募いただく事例イメージと成果イメージ＞

■ コーポレート・レピュテーションの向上

顧客・社員・社会等のステークホルダーからの支持と理解を得て、企業・団体・組織の活動を円滑に推進し、企業等の価値向上や組織変革に資するコミュニケーション活動例)

- ・企業ブランド価値向上のために行う活動全般
- ・企業イメージの明確化・確立のために行う活動全般
- ・企業イメージ向上のため、好意情勢のために行うソーシャルグッドの活動
- ・インターナルのモチベーションアップを実現するための活動
- ・企業のリスクマネジメント・クライシスマネジメントに関わる活動

【成果イメージ】： 企業レピュテーション・企業イメージ向上の客観的な数値・エビデンスなど

■ マーケティング面における貢献

商品・サービスの開発、市場への参入・規模拡大を望ましい形で展開していくためのコミュニケーション活動

例)

- ・新商品、新カテゴリー創出のための情報環境創造と具体的な話題化・実績の獲得など
- ・商品に対する新たなブランドイメージ獲得による販売実績の向上など
- ・ロングセラー商品の話題維持拡大、新たなイメージ創出による市場拡大や販売実績の向上など

【成果イメージ】： 商品・サービスの売上や話題化獲得の客観的なエビデンスなど

■ ソーシャルグッドによる新たな意識・行動の実現

企業・公共機関・団体が、社会の重要な構成員として、社会的課題解決に向けた取り組みや社会貢献の推進を積極的に行うためのコミュニケーション活動

例)

- ・NPO 法人など非営利組織が提起する新たな認識拡大や行動喚起などを実現する活動
- ・企業の事業持続化のために必要な社会的な課題解決を実現するための意識啓発、行動喚起のための活動

【成果イメージ】： ソーシャルグッドのための活動・プログラムの認知度向上、参加者の増加等の客観的なエビデンスなど

■ 日本や世界のパブリックリレーションズの価値向上や新たな手法解決に貢献する活動

パブリックリレーションズにおける調査や研究開発、執筆活動など、日本におけるパブリックリレーションズの質的な向上や普及拡大に貢献したもの

例)

- ・パブリックリレーションズにおける知見を公益に資する知識財として普及・拡大する活動（著作や講演活動など）
- ・パブリックリレーションズ領域に携わる人たちが共有できる新たな手法やプログラムの開発

【成果イメージ】： それぞれの目的とそれに対する客観的なエビデンスや成果を明記してください

◇ スケジュール

- | | |
|-------------|--|
| ■ 募集開始 | : 2025 年 8 月 20 日（水） |
| ■ 早期エントリー締切 | : 2025 年 9 月 15 日（月）中に受付記録があるもの |
| ■ 最終エントリー締切 | : 2025 年 10 月 15 日（水）17：00 必着 |
| ■ 審査 | : 一次審査：2025 年 11 月 10 日（月）
最終審査：2025 年 11 月 27 日（木） |
| ■ 表彰式 | : 2025 年 12 月 10 日（水）16：30～20：00 予定 |

◇ エントリー方法

- ① PRSJ ウェブサイト「PR アワード 2025」（8 月 1 日オープン）からエントリーシートをダウンロードし、ご記入ください。
- ② エントリーフォーム（8 月 20 日受付開始）に必要事項を入力しエントリーシートを添付後、登録を完了してください。
※自動返信の確認メールが届かない場合、受付が正常に完了していない可能性がありますので、事務局までお問い合わせください。
- ③ 全てのエントリー締め切り後に、エントリー料の請求書を送付いたします。
2025 年 11 月 30 日（日）までにお振込みをお願いします。

◇ エントリー料

早期エントリー：12,000 円（税込）／1 件（振込手数料別途）

最終エントリー：25,000 円（税込）／1 件（振込手数料別途）

◇ 審査方法

審査委員長と 9 名の審査委員の計 10 名で審査団を構成。全員が一堂に会して議論形式の審査会を開催。全エントリーに対し厳正な審査を行い、「グランプリ」「ゴールド」「シルバー」「ブロンズ」の各賞を決定いたします。なお、顕彰委員会及び審査委員の協議により、上記の賞以外の表彰を行う場合もございます。

1. 一次審査（11 月 10 日（月）予定）

審査委員が全エントリーを在宅審査し、その結果をもとに一次審査会にて上位エントリー（10 件程度）を決定いたします。

審査終了後 2～3 日以内に、審査結果をご担当者にメールにてご連絡いたします。

2. 最終審査（11 月 27 日（木）予定）

一次審査で決定した上位エントリー（10 件程度）によるエントリー内容の説明と審査委員からの質疑応答を実施（1 組 15 分程度）。全てのセッション終了後、「グランプリ」、「ゴールド」、「シルバー」、「ブロンズ」各賞を決定いたします。

審査終了後 2～3 日以内に、審査結果をご担当者にメールにてご連絡いたします。

3. 表彰式・プレゼンテーションについて

上位受賞の皆様には、受賞エントリーについてプレゼンテーションを行っていただきます。

日時：2025 年 12 月 10 日（水）16：30～20：00（予定）

※詳細は、11 月下旬に受賞者に個別に連絡

◇ 表彰

「グランプリ」：1 点（トロフィーを授与）

「ゴールド」：2 点（トロフィーを授与）

「シルバー」：3 点（トロフィーを授与）

「ブロンズ」：4 点（トロフィーを授与）

※上記は目安であり、最終的な表彰点数は審査団の協議により決定いたします

◇ 審査団（敬称略、50 音順）

■審査委員長（敬称略）

田上 智子 株式会社シナジア 代表取締役

■審査委員（9 名）（敬称略／氏名 50 音順）

植野 友生	味の素株式会社 食品事業本部 マーケティングデザインセンターコミュニケーションデザイン部 コミュニケーション戦略グループ PR チーム長
木村 友輔	株式会社博報堂 PR 局 PR ブラニング 1 部 部長 / チーフ PR ディレクター
国枝 智樹	上智大学 文学部新聞学科 ・ 准教授
小林 正史	株式会社ブラップジャパン 戦略企画部 部長 / Group Planning Director
竹下 隆一郎	株式会社 TBS テレビ 特任執行役員 Cross Dig with Bloomberg チーフコンテンツオフィサー
河 晃珍	國學院大學 観光まちづくり学部 観光まちづくり学科 准教授
橋本 良輔	株式会社電通 PR コンサルティング 統合コミュニケーション局 次長
南部 かおり	シック・ジャパン株式会社 マーケティング本部 コミュニケーション部長
横田 和明	井之上パブリックリレーションズグループ 株式会社日本パブリックリレーションズ研究所 取締役副社長

◇ 「PR アワード 2025」上位入賞者の発信に関して（必ずエントリー前にご一読をお願いします）

- ① 本年度は表彰式・プレゼンテーション（12 月 10 日開催）の様子は**オンデマンド配信**することを想定しています。受賞事例内容がネットで公開される場合があることについても、**必ず事業主体の許諾を取るようにしてください。**
- ② PRSJ の Web サイト・アーカイブで受賞者の発表および活動内容の紹介（エントリーシート of 公開を含む）を行います。
- ③ プレスリリースや協会出版物（「協会ニュース」など）にて受賞者の発表および活動内容の紹介を行います。
- ④ メディア取材や PRSJ 主催のセミナー等で、エントリーの活動内容の紹介を行う場合があります（随時許諾範囲を確認します）。
- ⑤ 受賞企業・代理店は積極的な広報発信をお願いします。また今後の PR アワードなどに関する告知・啓発活動にご協力をお願いする場合があります。
- ⑥ PRSJ が参加する展示会へのパネル出展にご協力いただく場合があります。

添付資料 1

「PRアワードグランプリ」前年度受賞一覧（会社名は当時）

※2023 年以前の受賞エントリーについては下記 URL からご覧いただけます。

<https://prs.j.or.jp/pr-award/list/>

2024 年度

【グランプリ】

◇アルバイトの立ちっぱなし問題解決を目指す「座ってイイッス PROJECT」

事業主体：(株)マイナビ

エントリー会社：(株)マイナビ / (株)博報堂 / (株)TBWA HAKUHODO

【ゴールド】

◇無名だった BtoB のニッチな下請け町工場を、毎月 2000 人以上が殺到する人気企業に変えた
“ファンづくり活動”

事業主体：(株)島田電機製作所 / エントリー会社：(株)島田電機製作所

【シルバー】

◇情熱があれば、だれでも音楽家。「だれでも第九」プロジェクト

事業主体：ヤマハ(株) / エントリー会社：(株)電通東日本

◇海外評判で透明醤油に再注目をつくる「透明醤油 市場浸透プロジェクト」

事業主体：(株)フンドーダイ / エントリー会社：(株)はずむ

◇メルカリで出会えるもので作った「ウチの実家」

事業主体：株式会社 メルカリ

エントリー会社：(株)プラチナム / (株)EPOCH / (株)thaw / (株)メディアコンシェルジュ

◇睡眠計量 e-SPORTS CUP「SLEEP FIGHTER」

事業主体：エスエス製薬(株) / エントリー会社：(株)電通

◇「池袋ハロウィンコスプレフェス」10 年にわたる地域とのコミュニケーションが築いた”聖地”

事業主体：(株)ドワンゴ

エントリー会社：池袋ハロウィンコスプレフェス実行委員会（豊島区/ドワンゴ/サンシャインシティ/アニメイト/ハコスタ）

◇選択的夫婦別姓を企業や生活者と考える「Think Name Project」

事業主体：(一社)あすには

エントリー会社：(株)電通デジタル / (株)プラチナム

【ブロンズ】

◇世界そして未来へ。「ドン・キホーテ」の根強いネガティブイメージを変革する 5 年間のブランディング活動

事業主体：(株)ドン・キホーテ

エントリー会社：(株)パン・パシフィック・インターナショナルホールディングス / (株)オズマピーアール

◇～予期せぬ災害に、予期せぬ訓練を～「とつぜんはじまる避難訓練」 in 那覇市

事業主体：LINE ヤフーコミュニケーションズ(株) / 沖縄県那覇市

エントリー会社：LINE ヤフーコミュニケーションズ(株)

◇徹底したローカル施策で、世界ブランドの象徴が関西で生んだ“奇跡の共感”「おかえり!カーネル」人形納め

事業主体：日本ケンタッキー・フライド・チキン(株)

エントリー会社：(株)オズマピーアール

◇特茶の反論 -ひろゆきさん、こちらにはエビデンス※があるんです。-

事業主体：サントリー食品インターナショナル (株)

エントリー会社：サントリー食品インターナショナル (株) / (株)SIGNING

◇バイトル「高校生アルバイト応援プロジェクト」～闇バイトから身を守る、高校生への啓発授業～

事業主体：ディップ(株) / エントリー会社：(株)マテリアル

◇コレクティブインパクトのアプローチで挑む! どの国よりも先に HIV/AIDS 流行終結を目指す「HIV/AIDS GAP6」

事業主体：ギリアド・サイエンシズ(株) / エントリー会社：(株)オズマピーアール

◇買い物にもう一つの基準”環境貢献”を。新たな単位 Earth hacks「デカボスコア」

事業主体：Earth hacks(株) / エントリー会社：(株)博報堂 / (株)SIGNING / (株)博報堂ケトル

【審査委員特別賞】

◇“鬱憤”から PR アイデアを考える新アプローチ「鬱憤構文®」

事業主体：(株)電通 PR コンサルティング

エントリー会社：(株)電通 PR コンサルティング

添付資料 2

公益社団法人 日本パブリックリレーションズ協会について

公益社団法人日本パブリックリレーションズ協会（略称：PRSJ）は、日本PR協会（1964年結成）と日本PR業協会（1974年設立）が1980年に合併統合され、時代に即したPRの在り方の探求とPRの啓発・普及を図るために設立されました。

現在は、一般の企業・団体の広報部門、PR業およびPR業関連会社、それに有識者などの個人会員で組織されているパブリックリレーションズ（PR）のプロフェッショナル団体です。2012年4月には公益社団法人の認定を受けました。

主な事業としては、「各種研修」「セミナー」などの教育事業、会員相互の交流事業、「協会ニュース」「PR手帳」などの出版事業、優れたPR事例を顕彰する「PRアワードグランプリ」、傑出したPRパーソンを表彰する「日本PR大賞PRパーソン・オブ・ザ・イヤー」、広く社会や地域の発展に寄与した人物・団体を表彰する「日本PR大賞PRシチズン・オブ・ザ・イヤー」の運営などを行っており、これらの活動を通じてパブリックリレーションズの普及と啓発、広報・PRスキルの向上、倫理の徹底を推進しています。

2007年には、PRプロフェッショナルとしての知識やスキル、職能意識を認定する「PRプランナー資格認定制度」をスタートさせ、協会内外の広報・PRパーソンや、広報・PRに興味を持つ学生など、幅広い人々に「PRプランナー」などの資格を付与しています。

2009年10月、時代の要請に応える広報・PR人材育成センターを目指し、実務能力の向上を目的とした「広報PRアカデミー」を開講し、現在では様々な教育セミナーを開催しています。

また2018年10月、PRプランナー試験に対応した公式テキストを全面改訂し、『広報・PR概説（1次試験対応テキスト）』と、『広報・PR実践（2次・3次試験対応テキスト）』を、2019年6月には『広報・PR資格試験参考問題集』を出版し、毎年改訂版を発刊しています。

2019年6月、パブリックリレーションズ活動の指針を定めた「PR活動ガイドライン」を策定いたしました。PRの仕事に携わるすべての関係者に向けて、PR活動のあるべき姿を提示するとともに、高い倫理観の下でPR活動の社会的責任を強く自覚することを求めています。

当協会はこれらの活動を通じて、広報・PRの啓発と普及、発展に努めています。

公益社団法人 日本パブリックリレーションズ協会
〒106-0032 東京都港区六本木 6-2-31 六本木ヒルズノースタワー5F
TEL : 03-5413-6760 FAX : 03-5413-2147